

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	兵庫県	事業実施主体	兵庫県、養父市	地域再生計画名	「響きあう心 世界へ拓く 結の郷 やぶ計画」
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	兵庫県 農政環境部 農林水産局 治山課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標の達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
	指標1	転入者数の増加	489人	H27	529人	R1	447人	569人	R3	×	3	1	R1年度の転入理由は、1.就職 2.同居 3.結婚。転出は1.就職 2.結婚 3.住宅取得。この結果を踏まえ、R2年度は新たに仕事の紹介に力を入れ、「仕事・住まい・婚活」三つ揃えの連携を図り目標達成を目指す。
	指標2	雇用創出数の増加	147人	H27	173人	R1	109人	200人	R3	×	3	1	新規雇用数は、H29年度46人、H30年15人、R1年48人、計109人。特区事業者誘致に影響される。H26年度特区指定後の雇用はH27年53人、H28年90人(1特区事業者で1人～8人雇用) 今後は、情報発信・受入企業等の職場環境の改善支援を行う。
	指標3	素材生産量の増加	16,011m3	H27	22,011m3	R1	30,106m3	22,011m3	R3	○			既に最終目標値を達成している。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）										
			計画	中間年度（R1）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		2,200m	1350m	1,750m	当初計画に対し、進捗率は、61%。遅延理由は、2路線中1路線は、要求3千万円に対し、当初予算14,866千円、これに応じた事業を実施。R1年補正予算で69,134千円が補てんされた。もう1路線は、大型商業施設誘致（H30年開店・開業）のためルート未定であった。今後は、計画期間を延長し、計画整備を目指す方針である。							
	林道整備事業（整備延長）		1,700m	288m	600m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約17%と遅れが伺えるため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	やぶ市シティプロモーション事業		観光振興により、地域経済を活性化			誘客宣伝事業として、ホームページの運営やパンフレットの印刷等をやぶ市観光協会へ委託し、観光交流人口の拡大を図っている。							
	定額観光タクシー事業		観光の移動費用及び時間短縮により、地域経済を活性化			周遊促進のため、時間制定額タクシーを導入し、観光の広域化を図るとともに、誘客促進と利便性、地域全体の宿泊者数の増加を図っている。28年度開始、昨年で累計1,000人近く利用している。							
	続・なにかと読めないまち事業		移住・定住の推進、あわせて市の認知度とイメージを向上			29年度開始。市内の飲食店、宿泊施設等で使えるクーポンをまとめたクーポンブック事業（平成29,30年度）を行い、市内事業者と連携して新たな商品開発（R1年度に巡り違いツアー）等を行い、若者の移住定住促進につなげる事業を展開している。							
	冬季誘客巻き返し委託事業		観光協会支部と市観光協会が連携し、スキー客等を復活			27年度事業、前年度の暖冬、日高までのIC開通に合わせ、ハチ高原で3月に花火を打ち上げてイベントを実施し、観光地のPRを行った。							
	企業誘致促進事業		企業誘致や既存企業の設備拡大等を推進し、雇用創出と経済を活性化			相談窓口を設けるとともに、都市部に出向いて事業用地等をPRしている。							
	養父市U・Iターン 介護人材確保事業		Uターン等への助成により、介護サービス事業所の人材を確保			28年度から開始。Uターン・Iターン者・新規就業者に引越費・改装費用等を一人10万円を4人に交付している。							
	やぶの空き家活用支援事業		空き家の購入又は賃貸、リフォーム等工事費用の一部を助成			27年度から開始。一人150万円を上限に助成、昨年はU・Iターン者3人が利用した。							
	特産物振興事業		特産物のブランド化、生産拡大とPRの実施により、地域活性化を推進			朝倉さんしょの苗木に補助金を給付。R1年度は293本の苗木に1本1,000円を補助した。							
	有機JAS認証拡大事業		農産物の有機JAS認定取得を維持・拡大のため、認定及び継続費用を助成			R1年は、17人が新規取得、継続者の費用負担を補助している。							
	担い手総合支援事業		営農組織、認定農業者、帰農者の育成支援により、多様な担い手を確保			R1年は、営農組織（資金面・規模拡充がしやすい）の法人化支援1件、新規認定数4件を行った。また、都市部での就農相談会を4回実施した。							
	森林環境保全整備事業		森林整備及び作業道等の林内路網整備を実施			森林整備として作業道17,751mを整備し、間伐・保育間伐230haを実施した。							
	機能回復整備事業		花粉症対策苗木による皆伐・再造林を推進し、森林の生産力を増進			皆伐2.3haを行い、花粉症対策苗木で再造林1.7haを実施した。また、森林作業道514m、獣害対策として防護柵764mを実施している。							
	針広混交林整備事業		放置森林を広葉樹に転換し、風害に強く水土保持機能の高い森林へ誘導			H30年度から30haの区域内において皆伐・間伐を実施した。							
③評価方法	地域再生計画評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	兵庫県、養父市のホームページに掲載												
⑦計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間の交通ネットワークを強化することで、「若い世代のU・I・Jターン促進」「地域資源の活用と伝統産業のイノベーション」「多様な起業・創業の促進」「企業や人が訪れやすい基盤づくり」により、転入者数および雇用創出数の増加を目的としている。 なお、指標1,2については、現時点で目標達成の見込みが厳しい状況にあるが、雇用創出数を増加させ、少しでも転入者数の減少に歯止めがかかるよう、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑧今後の方針等	中間評価結果の反映状況						有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（有・無）						計画上の道路整備を行うことで、地域間のネットワークが強化され、目標は概ね達成される見込みであるが、事業進捗状況が若干遅れている。このため、中間評価の結果を踏まえ、計画変更や事業期間を2年延伸する。						
	令和3年度交付金要望額への反映（有・無）												
	有りの場合の増減額 - 千円												
⑨今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画期間の2年間延長を申請し、事業推進を図る。</li> <li>●養父市市道の整備事業量、事業費の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備事業量 認定時2,200m→見直し後2,000m [200m減]</li> <li>・総事業費 認定時190,000千円→見直し後202,796千円 [12,796千円増（うち中間評価結果を反映した削減額0千円）]</li> </ul> </li> <li>●計画延長期間（R4～R5年度）の計画事業量 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道「朝倉高柳線」 ¥40,000千円 250m</li> <li>・林道「須留ヶ峰線」 ¥195,362千円 1102m</li> </ul> </li> </ul>												